

平成29年7月

第3号

湛水直播だより(鉄)

JA 松任 JA 白山 JA ののいち

白山石川営農推進協議会

1. 生育状況

- 1) 本年の生育は、草丈は長く、茎数は多いです。
- 2) 出穂期は8月10日頃と予想しています。今後、高温多照が続くと早まる可能性があります。

◆◆◆直播生育調査結果(7月18日調査)◆◆◆

	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	出穂予想 (月/日)
徳光	4月末	76.2	514.8	8/10

※ 理想的な穂肥時期の草丈:70cm、目標穂数:380本/m²

2. 今後の栽培管理

1) 倒伏について

草丈が長く、葉色の濃く、倒伏が懸念される圃場では、倒伏軽減剤の使用を検討して下さい。

● 倒伏軽減剤

薬剤名	散布量 (10a)	使用時期	使用回数	散布時の注意事項
スマレクト 粒剤	2~3kg	出穂前	1回	○湛水状態で均一に散布する。 ○散布後5日間は、落水やかけ流しはしない。
		15~10日		
ビビフル 粉剤DL	3~4kg	出穂前	1回	○まきムラ、重複散布をしない。 ○イネの茎葉部に均一に散布する。 ○降雨直後、降雨が予想されるときは控える。
		10~5日		

2) 本田防除について

①斑点米カメムシ類について注意報が出されています(7月13日カメムシ多発注意報第2号)。特に飛翔性カメムシが多いことから、ほ場への侵入は長引くと懸念されます。出穂後2回の防除を徹底しましょう。

● 基幹防除(出穂時期 8/10 頃のほ場での目安)

区分	薬剤名	散布時期	10a当り 散布量	備考
1回目 (出穂直前)	サジェスト微粒剤F	8月8~12日	4kg	収穫21日前まで
2回目 (出穂7日後)	ビームスタークル 微粒剤F	8月15~20日	4kg	収穫7日前まで
随時 (出穂14日後)	クラブ微粒剤F	8月22~26日	3kg	収穫14日前まで

(成熟期: 平年9月16日頃)

※ほ場により出穂期が異なりますので、出穂期を確認して適期防除に努めてください。

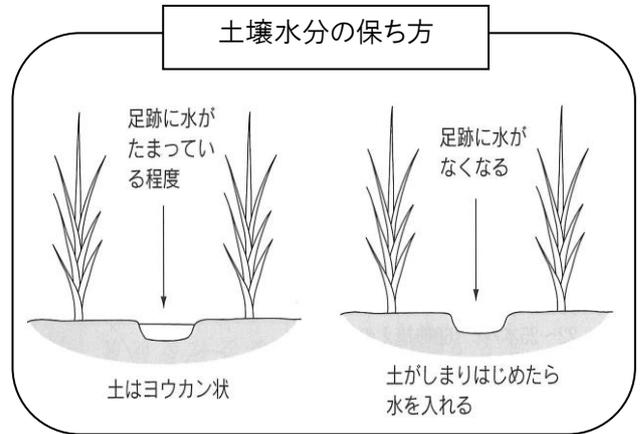
② コブノメイガの食害が見られたら、ただちに防除を実施する。

※葉色の濃いところに被害が集中する。

「MR ジョーカー粉剤 DL」 4kg/10a (収穫7日前まで)

3)水管理

- (1) 間断通水を徹底し、足跡に水が残る程の飽水状態を保ち、根の活力維持と出穂後の登熟向上を図りましょう。
- (2) 特に、登熟初中期(出穂後6～20日頃)に高温と水分不足が重なると、乳白粒・胴割粒の発生を助長します。



また、用水が十分に確保される地域では夜間通水を行いましょ(下図)。

- (3) 台風の接近や通過が予想される場合は、事前にほ場への入水を行い、フェーンや強風による被害の軽減を図って下さい(台風の通過後は速やかに排水して下さい)。
- (4) 高温となる日中の湛水は根を痛めるので避けて下さい。通水は夕方か朝方とし、根の健全化に努めましょう。
- (5) 集落ぐるみで計画的な水利用に努めて下さい(溝切りの溝に水を通すなど、効率的な水利用に努めましょう)。

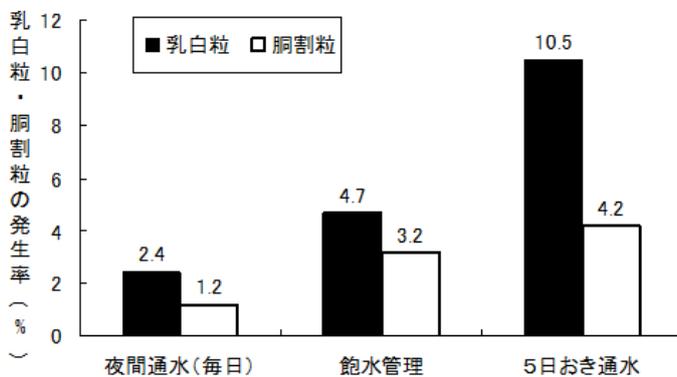


図 出穂後の水管理が品質に及ぼす影響(石川農研)

※飽水管理(2～3日おきの通水で土壌を常に湿らせておく管理)では、夜間に毎日通水するほどの効果は得られないものの、5日おきの通水より、乳白粒・胴割粒の発生を抑えることができます。

農作業中の熱中症に注意、7～8月は熱中症予防強化月間です ～熱中症予防のポイント～

① 天気予報と体調のチェック

急に暑くなる日は要注意。体調不良時には無理をしないようにする。

② 涼しい服装・安全な作業環境

帽子で日差しを遮り、汗を逃しやすい服装で作業をする。

作業はできる限り二人以上で行う。建屋の中も風通しを良くする。

③ こまめな水分補給・こまめな休憩

のどが渇く前にこまめに水を飲む。こまめに涼しい場所で休憩する。